

1. $u(x, t)$ が, 偏微分方程式

$$\frac{\partial u}{\partial t} = \frac{\partial^2 u}{\partial x^2}$$

初期値

$$u(x, 0) = f(x)$$

および境界条件

$$u(\infty, t) = u(-\infty, t) = 0$$

を満足するものとする. ただし, $u(x, t)$ と $f(x)$ は実関数とし, また任意の区間において $f(x)$ の絶対値の積分は有限であるとする. 以下の問いに答えよ.

(1) $u(x, t)$ は

$$u(x, t) = \int_0^{\infty} \{A(k) \cos(kx) + B(k) \sin(kx)\} \exp\{-k^2 t\} dk$$

と表現されることを示せ.

(2) 問 (1) における $A(k)$, $B(k)$ を, $f(x)$ を用いて表せ. 必要であればフーリエの積分公式

$$g(x) = \frac{1}{2\pi} \int_{-\infty}^{\infty} \int_{-\infty}^{\infty} g(y) e^{-i\omega(y-x)} dy d\omega$$

およびオイラーの公式

$$e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$$

を用いよ.

(3) $f(x)$ が以下のように与えられるとき, $u(x, t)$ を求めよ.

$$f(x) = \begin{cases} 1 & (|x| \leq d) \\ 0 & (|x| > d) \end{cases}$$

(4) 問 (3) において $\lim_{t \rightarrow \infty} u(x, t)$ の値を求めよ.

2. 周期 $2L$ を有する関数 $f(x)$ のフーリエ級数展開を次のように定義する.

$$f(x) = \frac{1}{2}a_0 + \sum_{n=1}^{\infty} \left(a_n \cos \frac{n\pi x}{L} + b_n \sin \frac{n\pi x}{L} \right)$$

以下の問いに答えよ.

(1) 上式において

$$a_n = \frac{1}{L} \int_{-L}^L f(x) \cos \frac{n\pi x}{L} dx$$

$$b_n = \frac{1}{L} \int_{-L}^L f(x) \sin \frac{n\pi x}{L} dx$$

と求められることを示せ.

(2) 問 (1) に示す式を用いて, 周期 $2L$ を有する次の関数 $g(x)$ をフーリエ級数に展開せよ.

$$g(x) = x^2 \quad (-L \leq x < L)$$

(3) 問 (2) の結果を用いて, 次の無限級数の値を求めよ.

$$\sum_{n=1}^{\infty} \frac{(-1)^n}{n^2}$$

3. 関数 $f(x)$ のラプラス変換を次のように定義する.

$$\mathcal{L}(f(x)) = F(s) = \int_0^{\infty} f(x)e^{-sx} dx$$

以下の問いに答えよ.

(1) 以下の関数をラプラス変換せよ. また, 収束域も示せ. ここで, a は定数である.

a) $\sin ax$

b) $\sinh ax$

(2) 関数 $f(x)$ と関数 $g(x)$ のたたみこみ積分 $f * g$ を

$$f * g = \int_0^x f(x-y)g(y)dy$$

と定義する. このとき,

$$\mathcal{L}(f * g) = \mathcal{L}(f)\mathcal{L}(g)$$

となることを導け.

(3) $F(s) = \frac{1}{s^4-1}$ となる関数 $f(x)$ を求めよ.

4. 関数 $f(t)$ のフーリエ変換を

$$F(\omega) = \int_{-\infty}^{\infty} f(t)e^{-i\omega t} dt$$

と定義し、関数 $F(\omega)$ のフーリエ逆変換を

$$f(t) = \frac{1}{2\pi} \int_{-\infty}^{\infty} F(\omega)e^{i\omega t} d\omega$$

と定義する. このとき, パーシバルの等式

$$\int_{-\infty}^{\infty} \{f(t)\}^2 dt = \frac{1}{2\pi} \int_{-\infty}^{\infty} \{F(\omega)\}^2 d\omega$$

が成立することが知られている. 以下の問いに答えよ.

(1) 関数 $g(t)$

$$g(t) = e^{-|t|}$$

をフーリエ変換せよ.

(2) 問(1)の結果およびフーリエ逆変換の式を利用して関数 $h(t)$

$$h(t) = \frac{1}{1+t^2}$$

をフーリエ変換せよ.

(3) 問(2)の結果とパーシバルの等式を用いて

$$\int_{-\infty}^{\infty} \frac{1}{(1+t^2)^2} dt$$

を計算せよ.